

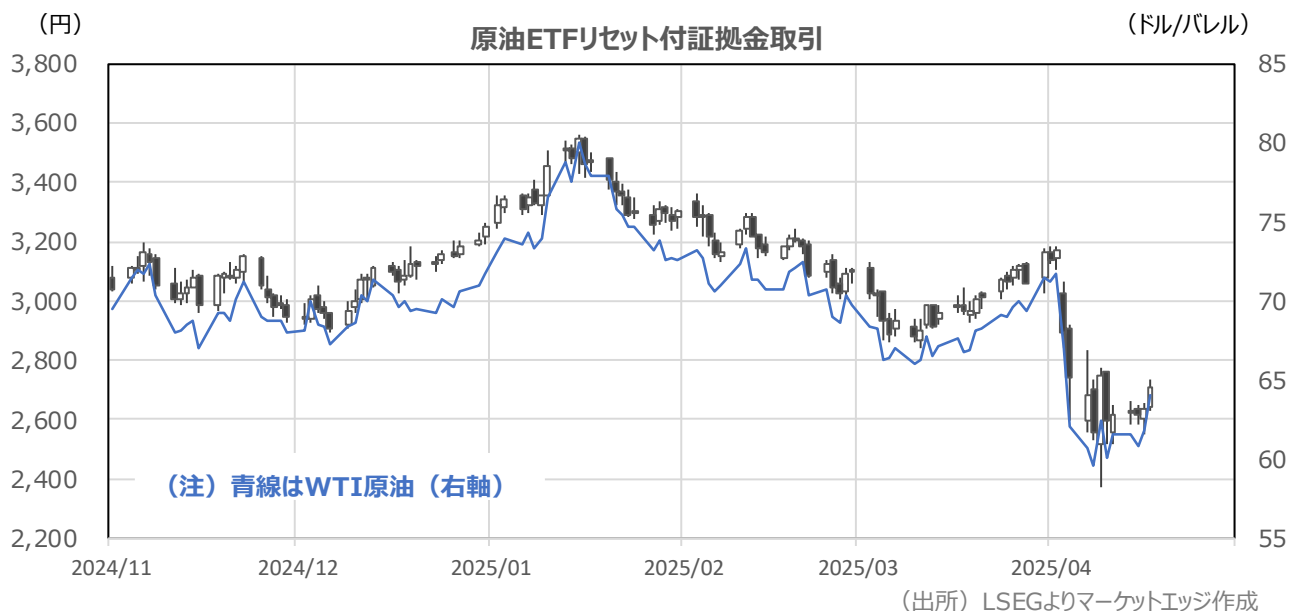
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/04/21号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



持高調整とイラン情勢警戒で、2週間ぶり高値

NY原油先物相場は、1バレル=60～62ドル水準での保ち合いを経て、64ドル水準まで値上がりして2週間ぶりの高値を更新した。積極的な買い材料は乏しかったが、ドル安やGood Fridayの3連休を控えて、安値修正の動きが優勢だった。米財務省がイラン産原油に対する追加制裁に踏み切ったこともポジティブ。イラン産原油を購入する中国の独立系製油所、輸送業者などが制裁対象になっている。石油輸出国機構（OPEC）と国際エネルギー機関（IEA）が世界石油需要見通しを引き下げているが、改めて原油相場を大きく押し下げようような動きは見送られた。

IEAは、2025年の世界石油需要見通しを日量30万バレル引き下げ、前年比で73万バレル増とした。また、26年は69万バレル増まで更に伸びが鈍化する見通しを示している。貿易紛争の激化が、世界経済の見通しにネガティブな影響を与えていることが指摘されている。また、今後の米国と各国との貿易交渉によって、今年と来年の予想には大きな不確実性がつきまとうことも指摘されている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（4月11日時点）は、原油が前週比52万バレル増、ガソリンが196万バレル減、石油精製品が185万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

需要不安が上値を圧迫、先高観の形成は難しい

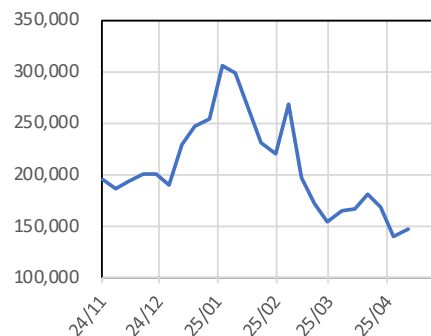
需給緩和見通しから、戻り売り優勢の展開が続く見通し。トランプ米政権の通商政策については大きな不確実性を抱えているが、対中国を筆頭に相互関税などが発動された状態にある以上、世界経済の見通しに対するリスクは下向きになる。このまま石油需要の伸びが抑制されれば、国際原油需給の緩和圧力が、原油相場を下押しする展開が維持されよう。4月22日が5月限の取引最終日になるため値動きが荒れやすいが、徐々に上値の重さを再確認する見通し。

引き続き通商環境が重視されよう。トランプ米大統領は強気の通商政策を展開しており、特に米中間の対立激化といった動きがみられると、下振れリスクが高まる。関税の応酬には一服感も見られるが、両国が互いの企業活動を抑制する動きが始まっており、先行き不透明感は強い。徐々に60ドル割れを打診する方向性になろう。

一方で、米国と各国の通商協議が始まっている。ここで通商環境の急激な改善期待が強まると、下げ一服感が強まりやすくなる。中国政府は、米国との協議開始にも前向きな姿勢を示している。早期に何らかの合意が形成される可能性は低いですが、報復措置の応酬に一服感がみられると、原油を含む資産価格全体が下値をサポートされ、さらに安値修正が進む可能性がある。

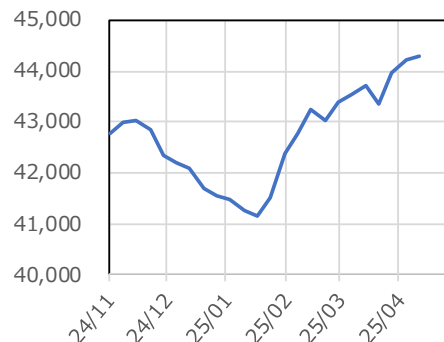
不確実性が大きいのは、イラン情勢だ。米国とイランの高官協議が始まっているが、先行きについては悲観と楽観とが交錯している。交渉の決裂で米国がイラン産原油に対する追加制裁などに踏み切ると、短期上振れリスクが高まるが、断続的な値上がりには発展しづらい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



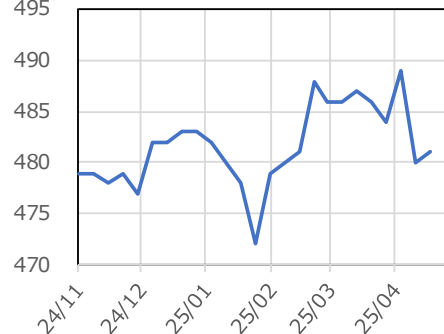
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

